

20180211「ナルドの香油」

目標：私達の主への心からの献げ物を、たとえ人は無駄だ浪費だと思っても、主は顧み、主の御業の中に意義づけてくださる。

聖書箇所：ヨハネによる福音書12章1節～11節 時間：10分

暗誦聖句：「マリヤは高価で純粋なナルドの香油一斤を持ってきて、イエスの足にぬり、自分の髪の毛でそれをふいた。すると、香油のかおりが家にいっぱいになった」(ヨハネによる福音書12章3節)

道具：ホワイトボード、ペン、

対象者：中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 幼稚園児×2

留意点：マリヤの感謝の動機など、本日の聖書箇所の背後にラザロの復活があることに留意する。ユダの記述は示唆が深いため、主題がずれないように触れ方の程度に心がける。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>これからしばらくイエス様の最後の一週間の出来事を扱っていきます。</p> <p>イエス様は、ベタニヤという村で、病気で急に死んでしまったラザロという人を甦らせるという奇跡を行いました。</p>		<p>受難週・イースターまでのイメージを思い浮かばせておく。当教会の場合、前回は合同礼拝のため、子どもたちの中では今回から新しい単元だという意識は持ちやすいと思われる。</p> <p>本時の前提となる出来事の提示。身近な例えを挙げて、この奇跡のものすごさを印象づけたい。</p>
課題探究	6分	<p>皆がそのラザロさんの家族だったら、イエス様にどのようなことをしたいですか。</p> <p>ラザロの妹のマリヤさんは、とても高いナルドの香油を用意していました。</p> <p>ふたを開けて(壊して)、マリヤは、何とその高い油をイエス様の頭でも胸でもなく、汚れていたであろう足に塗って、自分の髪の毛で拭いたのです。</p> <p>当然ですが、部屋は、ナルドの香油の良い香りでいっぱいになりました。</p> <p>しかし弟子の中には、その行いを批判する人がいました。どうしてだと思いますか。</p> <p>イエス様はこの女を困らせるなどと言って、不思議なことを仰られました。</p> <p>これは、私の葬りの為のものだと言われたのです。未だ皆が、イエス様の死が近いことをほとんど気づいていないとき、主は、これには深い意味があるんだよと宣言して下さったのです。</p> <p>皆も、マリヤさんのようにイエス様の喜ぶようなことをするとき、イエス様はとても喜んで下さいます。</p> <p>だったら、他の人を助けようとしていたけど、やめてイエス様の方に献げようと、無理にすべきではないでしょう。</p> <p>私達は救いに感謝するとき、イエス様に何かをささげたくなるのだと思います。それを、イエス様は、また多くの人を救うために用いて下さる方なのです。</p> <p>暗唱聖句</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お礼を言いたい。</li> <li>・お金を払いたい。</li> <li>・贈り物をしたい。</li> <li>・判らない。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判らない</li> <li>・もったいない</li> </ul>	<p>色々挙げさせたい。お金と言ったらどのような金額か、贈り物というならば、どのような贈り物か、突っ込んで聞いていく。喜びや感謝を表すと言うことを意識させたい。判らないという反応には、何か問題を抱えているのかもしれないので、なぜ判らないのか問うようにする。香油を子どもたちは知らないなので、説明する。香りの良い油で、弟子達の言葉から、年収に匹敵する価値ある油だったことを述べる。</p> <p>髪の毛で拭くことを演じてみると、情景を浮かべやすくなるだろう。</p> <p>困っている人たちに施すことは、イエス様の基本姿勢には適っている事に触れると、この問いかけは深まる。御言(7-8)をそのまま話しても良い。貧しい人が途切れることはない(9)は、社会構造に対する示唆として深いのだが、今回は触れない。</p> <p>ここが今回の山である。イエスは、心からのイエスへの献げものを、喜び、救いの御業の要素として意義づけて下さるのである。今回の場合、マリヤの行為は、決して人を救う類いのものでは無く、純粋に主イエスを喜ばせるためのものである。それを、主は救いの経緯に意義づけて下さるのである。</p> <p>適用</p> <p>イエス様の御心から、実際適用するときはどう言うことに気をつけたら良いか考える項。</p>
まとめ	2分			<p>献金について触れることが出来る場合は、触れても良い。</p>